

1 水位周知河川

(1)水位周知河川の状況

・河川の規模や人口・資産の集積状況等を考慮し、洪水予報河川3河川と水位周知河川38河川を運用済み。

(2)これまでの取組内容

- ・令和4年7月大雨被害を受け、市町村へ追加要望調査を実施。
- ・令和5年に名蓋川(北部管内)を水位周知河川へ指定。

(3)令和7年の取組内容

・令和7年6月より、夏川(小谷地観測所)に基準水位を設定し、運用開始。

(4)令和8年度取組内容

- ・令和8年6月より、名取川(余方観測所)に基準水位を設定し、運用開始を予定している。
- ・運用河川は、洪水予報河川3河川と水位周知河川39河川となる予定。

2 危機管理型水位計

(1)危機管理型水位計の概要

- ・「中小河川緊急対策プロジェクト」(平成29年12月)において、洪水に特化した低コストの水位計(危機管理型水位計)の設置を位置付け。(設置費用は、300万円/基程度)
- ・河川の水位が一定の水位を超過すると観測を開始し、危機管理型水位計運用協議会ウェブサイト「川の防災情報」で表示され、誰でもリアルタイムで川の水位が確認が可能。

(2)令和5年度取組内容

・令和4年7月の大雨被害を受け、市町村要望を反映し、追加箇所を検討した。

(3)宮城県内の設置状況

- ・平成30年9月から運用を開始し、県内132か所で運用中。
- ・令和7年6月から、県内9基を追加し、合計141基で運用する。
- ・気仙沼・南三陸圏域に係る設置については、八幡川に1基を設置している。

(4)令和8年度取組内容

・設置済み箇所の機器を更新する。



図：設置状況(参考)

3 簡易型河川監視カメラ

(1)簡易型河川監視カメラの概要

- ・平成31年1月に改訂された「水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画」中に、簡易型河川監視カメラの設置が位置付け。
- ・機能を限定(ズームや首振り機能を削除。設置費用は、300万円/台程度)。
- ・「川の防災情報」で誰でもリアルタイムで確認可能。(10分毎の静止画像)

(2)令和5年度取組内容

・令和4年7月の大雨被害を受け、市町村要望を反映し、追加箇所を検討した。

(3)宮城県内の設置状況

- ・令和3年4月から県内65か所で運用を開始し、現在、県内93箇所で運用中。
- ・令和7年6月から県内32基を追加し、合計125基で運用する。
- ・気仙沼・南三陸圏域に係る設置については、鹿折川1基、面瀬川1基を設置している。

(4)令和8年度取組内容

・設置済み箇所の機器を更新する。



日中



夜間

図：監視状況(折立川)